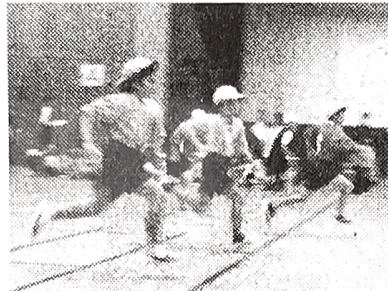


練習の成果をしっかりと発揮することができました。また、玉入れや王様じゃんけんでは、保護者の皆様にも参加していただき、会を盛り上げていただきました。親子の微笑ましいふれあいの場面もありました。

子供たち、保護者の皆様、先生方、みんなが笑顔いっぱいになった一日でした。



読書の秋

7日(火)の全校集会で、子供たちに次のような話をしました。

読書の秋。暑くもない寒くもないこの秋の季節は、本を読むことにも集中することができます。皆さん、本を読むのは好きですか。本が好きな人、手を上げてください。本って、楽しいよね。読んでると、あっという間に時間が過ぎていきます。

本の楽しさは、実際に読んでみないとわかりません。読んでいくうちに、だんだん楽しくなってきた、本を読むことが好きになっていくものです。本を読まないうちから、本が好きな人はいません。今、読書月間です。今、あまり本を読まない人、本を読む習慣がない人も、この読書月間の機会に、意識して本を手にとってみてはどうでしょうか。図書室に行くと、面白そうなことが書いてある本がたくさんありますよ。

本が好きになると、皆さんにとってとてもよいことがあります。聞いたことがあるかもしれませんが、2つ、お話しします。

よいことの一つ目は、「勉強が面白くなる」ということ。本を読むと、脳が鍛えられて、覚える力が付きます。集中力がついて、「よし、頑張ろう」と思う時間が長くなります。「あんな方法もこんな方法もあるよ」と、たくさんの考えが浮かぶようになります。お話をしたり、作文を書いたりするのが上手になります。本を読むようになると、勉強が面白くなるのです。

よいことの一つ目は、「心が落ち着く」ということ。本を読むと、ストレスや不安がなくなり、穏やかな気持ちになります。心が落ち着いてきます。ですから、読書は心の栄養とも言われているんですよ。皆さん、体の栄養だけでなく、心の栄養もしっかりとりましょうね。

今の子供たちは、ゲーム機やパソコン、スマホの普及で、じっくりと本を読むことが少なくなってきたのではないかと危惧しています。やっぱり、今こそ「読書」です。

本校では、読書の秋にちなんで、10月30日から11月24日までを「読書月間」とし、おすすめの本の紹介や読書ビンゴなど、様々な取組を行っています。ぜひ、この秋に、子供たちに読書の楽しさを体感させ、本校に「読書大好き」な子をもっともっと増やしていければと思っています。